

ピアレビュー委員会 (第5部会)

2018 年度 (対象年度: 2017 年度) ピアレビュー報告書

評価対象組織	研究組織 (E群)
--------	-----------

基準 11	大学独自の評価項目
-------	-----------

総評

当部会では E 群に含まれる 5 つの研究組織について、提出された自己点検・評価シートをもとに基準 11: 計画的な研究活動の推進および持続的な業務内容の点検である 1110(1) 設置目的に沿った計画的な研究推進、1120(2) 委員会活動の検証の評価項目の視点からピアレビューを行った。その結果、重点目標の設定と計画的な研究推進の実施について、管理運営の面からもわかる適切な委員会活動として改善が求められる複数の組織・センターがあると判断された。以下に、評価項目の視点から述べる。

1110(1) 設置目的に沿った計画的な研究推進

・改善・向上方策の一つとして、年度重点目標を設定している研究組織は 2 つの組織・センターだけであったが、今後、自己点検・評価を行っていくうえで改善していくものと提出された評価シートの改善向上の計画等から判断され、概ね業務内容の点検を持続的に行っていると評価できる。

1120(2) 委員会活動の検証

・委員会を持たない組織・センターもあるが、委員会活動の開催・議事録の共有等ができていない組織・センターは半数程度にとどまっていることから、委員会活動が適切に遂行されていると判断できないところがある。

★個別の自己点検・評価シートについてのコメント

・自己点検・評価シートでは「点検・評価の視点」ごとに評価結果を 4 段階で示していることから、「自己点検・評価項目の視点」に照らし合わせた説明のないもの、本文中にエビデンスの明記のないもの、根拠資料が示されていないシートがいくつか散見されたので、来年度の自己点検・評価時には、その点に留意して記載されることをお願いする。

・計画的に研究推進を進めていくために、年度重点目標が未設定の組織・センターは、設置目的に沿った年度重点目標を設定し、目標を含めた管理運営・情報(会議ミーティング・議事録等)について組織での共有が望まれる。

長所・特色 <箇条書き>

・メンバー限定で閲覧できる Web を使った議事録の共有方法は、他の組織にも参考になると判断される[創発学術院 1110b、1110c、1110d]。

留意点 <箇条書き>

* 各項目に留意点レベルを記入

【A】・・・緊急の改善を要する事項

【B】・・・検討を要する事項

特になし

ピアレビュー委員会（第5部会）

2018年度（対象年度：2017年度）ピアレビュー報告書

評価対象組織

事務組織（E群）

基準 11

大学独自の評価項目

総評

当部会ではE群に含まれる20の事務組織について、自己点検・評価シートに記載された内容を基準11：1120管理運営組織および教育研究組織における持続的な業務内容の点検という自己点検・評価項目の視点からピアレビューを行った。

あくまで提出された自己点検・評価シートの記載事項と根拠資料の範囲内でのレビューであるが、総括すると大半の部署では何らかの業務内容の点検を行っているが、年度目標の設定を行っている部署は少なかった。また、委員会活動については、約半数の部署で議事録の作成が確認できたものの、一部の部署では作成状況が十分ではなかった。

自己点検・評価シートの提出は今回が初回であるため、部署ごとに記載内容と根拠資料にかなりのばらつきがあった。自己点検・評価項目について実施していないのか、あるいは単に記載していないのか判断できないケースも多々見受けられた。今後は記載内容や根拠資料について一定の標準化がはかれるよう、シートの設問自体の工夫や、わかりやすい記入例の提示が望まれる。

また、現在事務系部署においては、年度重点目標の設定について学内で決められたルールはないので、今後の検討が望まれる。

個別の項目についてのレビューは次のとおりである。

1120 持続的な業務内容の点検

・大半の部署においては何らかの業務内容の点検を行っていることが確認できたが、全般的に根拠資料の不足が目立った。各部署において、持続的な業務内容の点検を行うとともに、それを裏付けるエビデンスの確保が望まれる。

1120(1) 持続的な改善・向上の取り組みと年度重点目標の設定

・ほぼ全ての部署において、改善・向上の取り組みを行っているが、取り組みのレベルに差があった。また、大半の部署で年度重点目標を設定していない状況であった。各部署において過年度の業務の自己点検・評価を行った上で次年度の年度重点目標を設定し、部署内でPDCAサイクルを回す仕組みの構築が望まれる。

1120(2) 委員会活動の検証

・約半数の部署で根拠資料としての議事録により委員会活動の検証ができたが、一部の部署では所管する委員会の有無さえ不明なケースがあった。各部署で所管する会議名を記載するとともに、適切な開催手続きを行っていることを明示するため、可能な範囲での議事録の提出が望まれる。

★個別の自己点検・評価シートについてのコメント

「研究推進事務部 COC 推進課」のシートは、自己点検・評価の視点に沿った記載内容であり、根拠資料からもPDCAサイクルを回している組織の状況がきちんと読み取れた。

一部の部署のシートにおいては、自己点検・評価の視点において説明不足、あるいは根拠資料不足であるので、今後の検討が望まれる。

長所・特色 <箇条書き>

特になし。

留意点 <箇条書き>

*各項に留意点レベルを記入

【A】・・・緊急の改善を要する事項

【B】・・・検討を要する事項

特になし。